

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社平野建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		・年末には1年間の振り返りを含め、改めて経営理念及び経営目標の共有の場を設けている。仕事に対する態度、姿勢、取り組み方については、日頃から現場での作業を通して教育、指導している。								8	9										17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・日頃の業務の中での法令遵守の指導はもとより、法令が改訂・新設される際には必ず従業員への周知を行い、社内全体での法令遵守の体制・仕組みを構築している。																			16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・見積書作成時には、必ず担当者によるダブルチェックを行い、不正競争行為の防止を徹底している。 ・施工費用は社内での協議を重ねた上で、適正な価格となるよう徹底している。										10									16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・現場ごとに必ず責任者を配置し、周辺地域や工事による環境への影響について対策をしている。																				16
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・重要情報に関しては経営陣が管理を行い、知的財産の流出防止を徹底している。								8.2 8.3	9											
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・顧客情報は担当者を定め管理を行うことで漏えい防止に努めている。 ・従業員名簿はPC上で閲覧制限をかけて管理し、適切に管理している。																			16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・工事開始前には必ず近隣住民を個別に訪問し、必要に応じて現場説明を行う等、理解を得る努力をしている。 ・個人顧客には定期的なアフターフォローを行い、適切に対応している。																		16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・工事に使用する資材は業者との情報交換を都度行うことで、常に最適な資材を使用することに努めている。 ・現場ごとに担当者を定め、生物多様性や生態系への悪影響防止のための適切な管理をしている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		【予定】2023年10月迄にBCPを策定する。ハザードマップを確認し、従業員はもとより地域住民の安全対策に努め、年に1度避難訓練を実施する。										9		11		13.1			16	17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・現場での指導育成を通して事業承継への対策は実施済である。									8	9									17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5			8				12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントの禁止について就業規則に明示し、従業員への周知を徹底している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・現場の危険箇所への対策としてフェンスの設置、段差への鉄板の設置を実施している。 ・毎朝現場ごとにチェックリストを用いたKY活動を実施し、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。			3					8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・正社員、パートに関わらず、各従業員に公正な待遇を徹底している。					5.5			8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・定時退勤の徹底に加え、週休2日への体制作りを図ることで、家庭と仕事の両立が可能なワークライフバランスを推進している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・講習会や資格スケジュールの案内を通して、教育訓練の機会を提供している。 ・業務に必要な資格や免許取得費用を全額会社負担とすることで、従業員の能力開発に努めている。				4	5.5			8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断の費用は全額会社で負担しており、再検査が必要な場合は会社から病院受診を勧める等、従業員の健康維持のための対策を講じている。			3					8										17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・原則定年退職はなく、本人の申告による継続雇用等を行うことで、ダイバーシティ経営の実現に努めている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・感染症対策の一環としてWEB会議の実施環境を整えている。			3					8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●											8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●					3	4					8	9			12							

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社平野建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・工事により発生する汚泥は沈殿させて回収し、油は吸着マットを使用することで流出防止に努めている。 ・廃棄物収集運搬の資格を取得しており、工事により発生する廃棄物(コンクリート、アスファルト、木材、金属等)は分別して適切な業者に持ち込んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		【予定】2023年10月迄に簡易計算シートを使って自社のエネルギー使用量を把握し、節電や効率的なエネルギー使用方法を検討する等、削減に取り組む。							7.3							13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		【予定】2023年10月迄に簡易計算シートを使って温室効果ガスの排出量を把握し、HV車や環境配慮型重機の導入を検討する等、削減に取り組む。 ・アイドリングストップ実施を徹底している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4		13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・環境への悪影響防止のための取組みとして、汚泥の回収、油の吸着による回収等対策を徹底している。 ・土壌改良の際は、土壌に悪影響のない添加剤を選択し使用している。						6.6										14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・鉄は、リサイクルを行っている事業所に運搬している。 ・現場で撤去した部品(フェンス、ガードパイプ)は安全面を考慮した上で再利用している。										9.4			12.2 12.4 12.5			14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・工事により発生する汚水は泥を沈殿させて回収し、油は吸着マットを使用することで流出防止に努め、水資源の保全に取り組んでいる。		2.4				6.3 6.4 6.6						11.5				14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・クラッシャーランや舗装時のアスファルトには再生材を利用しており、その他においても可能な限り再生材を選択し利用している。										9.4			12.4 12.5		13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4										14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事務所周辺には植栽を行い、現場ではプランターに花を植えることで緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。												11.6 11.7			13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・社用車にはハイブリッド車を導入している。 ・安全掲示板やチューブには太陽光発電によるエネルギーを使用しており、再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5				13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・事故による倒木や枯死した木を新しいものに植え替えることで、身近な森林利用への取組みを実施している。						6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2		13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2		13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・工事により発生した廃棄物は分別後回収を行い、適切な業者に持ち込むことで、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。													12.2 12.5			14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2				13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8		13					17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社平野建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・公共工事の際には、現場担当者以外の第三者による社内検査を実施することで、品質を確保する仕組みを構築している。			3.9						9			12.4												
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・建設工事の際、階段の横にはスロープを設置するなど、顧客に合わせた提案を行うことで、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。									9.1	10	11.7										17			
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・製材所から熊本県産材の木材を仕入れている。			2.3 2.4				7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15					17			
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・事務所は木材で建築しており、木質化を推進している。							7						12.2	13.1		15								
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・建築工事において顧客に合わせたスロープ設置の提案を行う等、誰もが利用しやすい環境整備を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4					8.2	9.2 9.4			11.a	12.2			14	15					17		
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・自治体の清掃活動を始めとする社会貢献活動には、社内全体で積極的に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		【予定】2023年10月迄にハザードマップを確認し、従業員はもとより地域住民の安全対策に努め、年に1度避難訓練を実施する。				4							11.5			13.1						16				
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・従業員が消防団に在籍しており、会社としても消防団の活動への参加について支援する体制が整っている。	1.5			3	4						10.2	11.5			13.1					16	17			
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1										
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・SDGsコンサルティングを導入し、自社のSDGsとの結びつきや新たなSDGsへの取り組みを考える機会とし、さらに社内への浸透に努めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・インターンシップ受け入れ体制は常に整えており、県の青年部として地元高等学校への講習会を実施することで、地域の学生に対する職業の学びの場を提供している。									8.6		10.2										17			
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・従業員は全て熊本県出身者であり、今後も県内出身者(若者)の採用を促進する方針を掲げている。								4.4			8.5 8.6											17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15					17			

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。